

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名	
一般	07	01	02	174070	起業・新事業展開推進事業	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-5	農工商観連携の推進			
	施策	1	起業の推進			
目的	起業化と新事業展開					
対象	市内企業					
意図	起業と新事業の創出					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○起業化支援センター運営 45,219千円 市内企業及び入居企業に対するコーディネート活動や研究室、工場等の貸出 ○ビジネスインキュベータ運営委託 6,442千円 都市型産業の入居企業に対するコーディネート活動やレンタルオフィスの貸出 ○生産技術研究開発推進 19,980千円 岩手大学との産学共同研究、新技術開発のための研究						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	○補助・助成	○委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	セミナー・事業相談開催回数	回	計画	40	40	
			実績	28	32	
②	サテライトの研究会開催回数	回	計画	15	15	
			実績	15	15	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	セミナー・事業相談会参加企業数	社	目標	100	100	
			実績	85	82	
②	サテライトの研究会参加企業数	社	目標	150	150	
			実績	100	99	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	○	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
起業化支援センターや岩手大学のサテライトを通じ、事業所の多様なニーズを捉えたセミナー・事業相談や研究会を展開したが、PR不足や開催日時が他行事と錯綜するなど、参加企業の増加につながる結果に結びつかなかった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	地域産業の創出と地域経済の活性化には、産学官の連携は必要不可欠であり、市が主体的に取り組む必要がある。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	新規事業の創出、産学官連携による新たな事業を展開することにより、成果向上の余地がある。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	必要最小限の経費と職員体制で事業を実施しており、削減の余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	市内すべての企業を対象としていることから、受益機会は均等である。
総合評価 …上記評価結果の総括		
地域産業の活性化に向けて、起業や新たな事業の創出を牽引し、サポートする施設や団体が必要であり、産学官連携の強化やコーディネート支援を総合的に展開することにより、起業と新事業の創出を誘発することが期待できる。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 商工観光部 課名 商工労政課 担当係長 薄衣 孝史 内線 388

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	07	01	02	174070	起業・新事業展開推進事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		82,506	71,642		△ 10,864
財源 内訳	国・県				
	地方債				
	その他	16,152	18,139		1,987
	一般財源	66,354	53,503		△ 12,851

※特定財源の内訳

起業化支援センター使用料	14,529千円	ビジネスインキュベータ使用料	2,814千円
起業化支援センター光熱水費	126千円	ビジネスインキュベータ光熱水費	667千円

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部重点施策における目標
多様な産業の連携を促し、高い付加価値を生み出します。

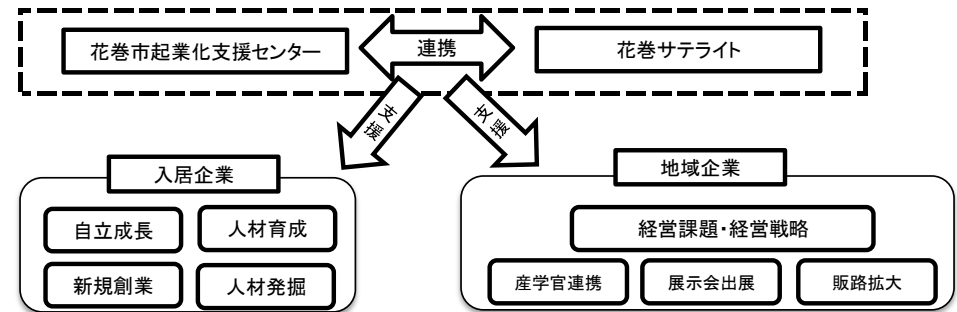
事業開始の背景・経緯
産業振興と経済発展の強化を図るとともに、地域企業の育成と技術力向上等の支援を強化するため、外部団体の協力を得て、総合的に支援する必要があったため

事業概要
 ○起業化支援センター運営 45,219千円
 市内企業及び入居企業に対するコーディネート活動や研究室、工場等の貸出
 ○ビジネスインキュベータ運営委託 6,442千円
 都市型産業の入居企業に対するコーディネート活動やレンタルオフィスの貸出
 ○生産技術研究開発推進 19,980千円
 岩手大学との産学共同研究、新技術開発のための研究

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

- ①起業化支援センター運営事業委託 33,657千円
 1 インキュベータ事業(入居企業支援、新規創業支援)
 入居企業の必要な外部経営資源等とのマッチングを始めとするコーディネート支援を展開し、入居目的に即した企業の自立成長を支援するとともに、各種研究会への参画等によるネットワーク形成とノウハウの蓄積を図り、新規創業を目指す人材の発掘と支援を図る。
- 2 地域企業支援事業
 地域企業における経営課題克服、経営戦略的活動に対し、花巻市制度の効果的な活用や産学・産産連携の促進を含めたトータルコーディネート活動を行って、地域企業の経営資源の充実を支援する他、展示会への出展や企業同行等による幅広いマーケティング活動支援や販路開拓等を推進する。
- ②ビジネスインキュベータ運営事業委託 2,382千円
 中小企業者の都市型産業を支援するインキュベータ施設を管理運営することにより、特色ある新事業創出を図るとともに、談話室を一般市民に開放し、中心市街地の賑わいづくりを図る。
- ③生産技術研究開発推進事業委託 19,980千円
 花巻市起業化支援センター内に設置した「国立大学法人岩手大学附属生産技術研究センター（通称：花巻サテライト）」において、岩手大学で保有する様々な技術を活用した研究開発、技術普及、技術相談及び技術指導を行い、地域産業の活性化、高度化を推進する。



- ④その他 15,623千円
 1 節 60千円 (起業化支援センター運営委員報酬)
 9 節 73千円 (起業化支援センター運営委員費用弁償)
 11 節 8,424千円 (消耗品、燃料費、パンフレット印刷、光熱水費等)
 12 節 875千円 (電話料、浄化槽点検、廃棄物処理等)
 13 節 5,388千円 (センター・BI機械設備等保守管理等)
 14 節 803千円 (機器借上料、放送受信料)